

## 調査報告書

- 1 とき：2013年9月28日
- 2 行先：名古屋市内 北区 東区 昭和区 天白区 千種区 東山公園
- 3 参加者：山口清明、政務活動補助員（浜田）
- 4 主な内容

住宅都市局の決算審議等に備えて、以下の地域及び物件を調査した。

○ 定住促進住宅民間型「シティライフ大曾根」

- ・ 中堅所得階層を対象に民間物件への家賃補助を行っている住宅。駅前幹線道路沿いの立地で家賃は60㎡規模で9万円台、タワーパーキング月額2万1千円。
- ・ 通常家賃補助＋子育て世帯向け家賃補助で約2万2千円の家賃補助。中堅所得者向けというがリッチに見えた。

○ 高齢者向優良賃貸住宅「ジョイフル砂田橋」社会福祉法人サンライフ

- ・ こちらも地下鉄から徒歩一分。有料老人ホーム、診療所、デイケア等と併設のおしゃれなマンション。入居条件は月額所得4万8千円以下で60歳以上。
- ・ 25㎡から45㎡までの家賃が5万2700円から9万4900円＋管理費共益費が1万9千円。補助対象は月額所得が2万6千8百円以下に限られ4万4千円から2万2千9百円（月1万2千3百円以下）となる。所得制限があるとはいえ相当の収入がなければ入居できない施設のようなのだ。

○ 未着手都市計画道路

- ・ 「高田町線」昭和区内について予定地周辺をまわり、住宅の立地状況と道路事情をみた。いまさら多数の住民を移転させてまで通す道路ではないと実感。
- ・ 「天白溪線」緑豊かな環境にある住宅地であり生活道路として域内通過交通の規制をするなどの代替措置をとるほうがはるかに合理的だと実感。
- ・ 「山手植田線」153号線から延長させたい計画の意図は理解するが現地の地形や八事日赤前交差点の現状を考えると計画そのものに無理があると実感。

○ 東山動物園 新アジア像舎「ゾージアム」

- ・ 東山動植物園再生プラン基本計画にもとづきつくられた国内最大のアジア象飼育施設。獣舎の改築に6億円、運動場等の整備に2億8749万円。土木交通委員会に議席がなく開所式典等に参加できないため、新施設を見学。象の移動が困難な現状や新施設の展示上の工夫などが確認できた。